

# 目次

## ■ 第1章 農業の概要

- 1 青森県の自然……………1
- 2 農業産出額……………2

## ■ 第2章 畜産の概要

- 1 畜産産出額……………3
- 2 主要家畜の頭羽数……………3

## ■ 第3章 家畜飼養動向

- 1 乳用牛……………4
- 2 肉用牛……………6
- 3 豚……………8
- 4 採卵鶏……………10
- 5 ブロイラー……………11
- 6 その他……………12

## ■ 第4章 畜産物の流通と価格

- 1 牛乳……………13
- 2 肉用牛……………15
- 3 豚……………17
- 4 鶏卵……………19
- 5 ブロイラー……………21
- 6 畜産物支出金額、購入数量……………22

## ■ 第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1 生乳……………23
- 2 肉用牛……………24
- 3 豚……………26

## ■ 第6章 草地と飼料

- 1 自給飼料の生産……………27
- 2 草地面積……………28
- 3 配合飼料の生産……………29
- 4 青森県飼料作物奨励品種……………30

## ■ 第7章 家畜衛生

- 1 家畜防疫事業の推移……………31
- 2 監視伝染病発生状況……………32

## ■ 第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況……………33

## ■ 第9章 参考資料

- 1 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標……………34
- 2 青森県養豚・養鶏振興プランの目標……………35
- 3 畜産行政組織の概要……………37
- 4 試験研究機関……………38
- 5 行政区域・各機関所在地……………38
- 6 畜産関係機関・団体……………39
- 7 畜産関係施設……………40
- 8 県内の特徴的な動き……………41
- 9 県基幹種雄牛……………43



# 第1章 農業の概要

## 1 青森県の自然

### 〔位置〕

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相對し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北新幹線）では約710kmで、時間距離は自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、鉄道では最短で約3時間、飛行機では約1時間15分となっている。

### 〔面積〕

本県の面積は、全国8位の約9,646km<sup>2</sup>で全国の約3%を占めているが、人口密度は約128.3人/km<sup>2</sup>で全国41位となっており、1人当たりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

### 〔地形〕

県の中央部の奥羽山脈を境として、日本海側の津軽地方では、奥羽山脈の延長にある山地と出羽山地の延長にある山地によって囲まれた広大な沖積平野である、肥沃な津軽平野が岩木川流域に広がっている。

また、奥羽山脈の北端には、青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、北上山地から続く火山灰土に覆われた台地や段丘が広く分布し、下北半島の首都から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

西の津軽半島と東の下北半島はそれぞれ北に延び、両半島の真ん中に陸奥湾が存在する。

### 〔気候〕

夏が短く冬が長い冷涼な気候で、四季がはっきりしている。夏季は、津軽地方は比較的気温が高く温暖な日が多いが、県南地方では春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では雪の日が多く多雪となるが、県南地方は冷え込みが厳しいものの、晴天の日が多く雪は少ない。

青森の地質区分



本県の面積 9,645.1km<sup>2</sup> (全国8位)

本県の海岸線総延長 796.5km (全国13位)

資料:

令和2年国勢調査人口等基本集計（総務省）

令和7年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）

平成28年海岸統計（国土交通省）

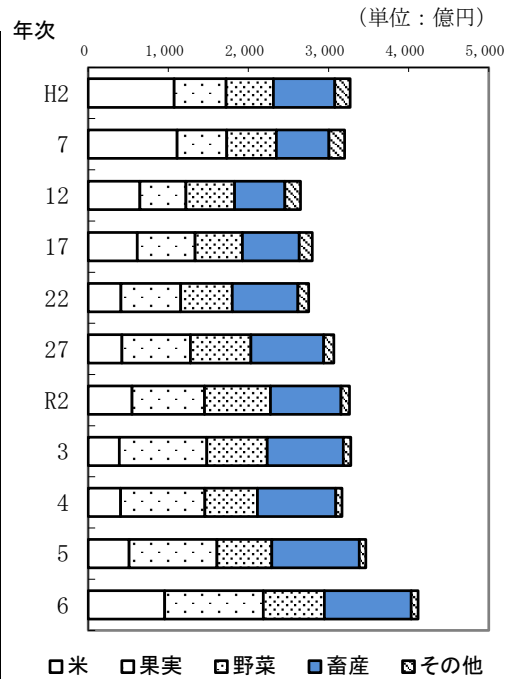
## 2 農業産出額

### ○農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて算出したものである。

(単位：億円)

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
H2	3,270	1,074	647	593	<b>766</b>	190
7	3,200	1,109	621	619	<b>656</b>	195
12	2,649	647	573	608	<b>628</b>	193
17	2,797	613	722	589	<b>710</b>	163
22	2,751	410	746	643	<b>818</b>	134
27	3,068	422	857	751	<b>910</b>	128
R2	3,262	548	906	821	<b>883</b>	104
3	3,277	389	1,094	753	<b>947</b>	94
4	3,168	405	1,051	657	<b>979</b>	76
5	3,466	511	1,096	687	<b>1,090</b>	82
6	4,119	955	1,233	762	<b>1,083</b>	86

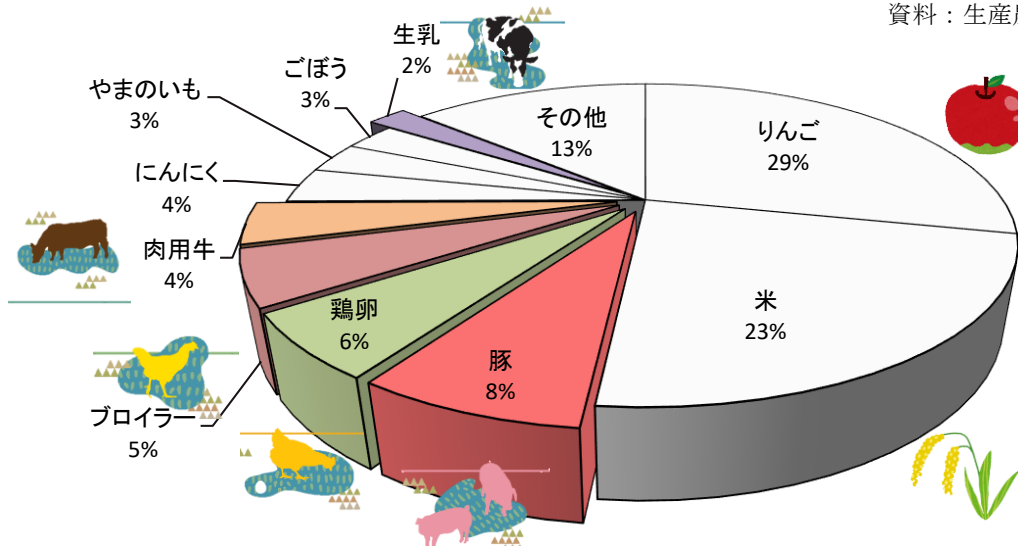


県内産出額上位10品目（令和6年）

(単位：億円)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	鶏卵	ブロイラー	肉用牛	にんにく	やまのいも	ごぼう	生乳
産出額	1171	955	<b>313</b>	<b>251</b>	<b>223</b>	<b>171</b>	146	130	119	<b>90</b>

資料：生産農業所得統計



# 第2章 畜産の概要

## 1 畜産産出額

令和6年の畜産産出額は、前年に比べて0.6%減の1,083億円となっており、畜種別では鶏493億円（対前年比4.3%減）、豚313億円（対前年比2.0%増）、肉用牛171億円（対前年比3.6%増）、乳用牛95億円（対前年比4.4%増）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛		肉用牛	豚	鶏		その他	
		生乳				鶏卵	ブロイラー		
S55	586	107	80	52	186	220	174	-	24
60	623	105	85	67	194	239	156	-	19
H2	766	103	83	97	255	283	142	-	28
7	649	97	78	72	216	257	131	-	6
12	627	78	71	75	185	282	137	-	8
17	710	73	68	81	223	324	147	153	10
22	818	72	69	120	258	357	169	182	12
27	910	78	69	146	258	412	195	210	16
R2	883	93	83	144	224	411	179	217	13
3	947	88	78	161	221	464	223	227	13
4	979	89	83	171	240	466	234	217	12
5	1,090	91	87	165	307	515	264	233	11
6	1,083	95	90	171	313	493	251	223	10

※ 平成12年以前は、ブロイラーの産出額の調査は行っていない。

資料：生産農業所得統計

## 2 主要家畜の頭羽数

### (1) 飼養戸数、頭羽数（乳用牛・肉用牛：令和7年2月1日現在、豚・鶏：令和6年2月1日現在）

（単位：戸、頭、千羽）

飼養戸数	乳用牛			飼養戸数	肉用牛			飼養戸数	飼養頭数	採卵鶏		ブロイラー	
	飼養頭数				飼養頭数					飼養戸数	飼養羽数 成鶏めす	飼養戸数	飼養羽数
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種	乳用種						
126	11,500	8,650	2,840	651	51,700	31,400	20,300	48	334,800	24	4,902	59	7,639

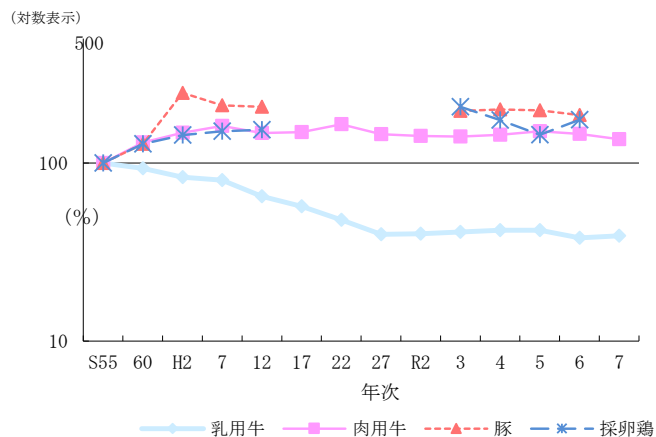
資料：畜産統計

### (2) 家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較すると、豚（186%）、肉用牛（136%）、採卵鶏（175%）は伸びており、乳用牛（39%）は減少している。

（単位：%）（対数表示）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
S55	100	100	100	100
60	93	130	128	128
H2	83	148	248	144
7	80	161	211	151
12	65	147	207	154
17	57	149		
22	48	165		
27	40	145		
R2	40	142		
3	41	141	196	207
4	42	144	200	174
5	42	151	198	144
6	38	146	186	175
7	39	136		



資料：畜産統計・食鳥流通統計

※平成17年、22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため豚及び採卵鶏の調査データなし

# 第3章 家畜飼養動向

## 1 乳用牛



### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は年々減少し、令和7年は前年より10戸減の126戸となった。  
飼養頭数は11,500頭で、前年に比べて400頭増加している。

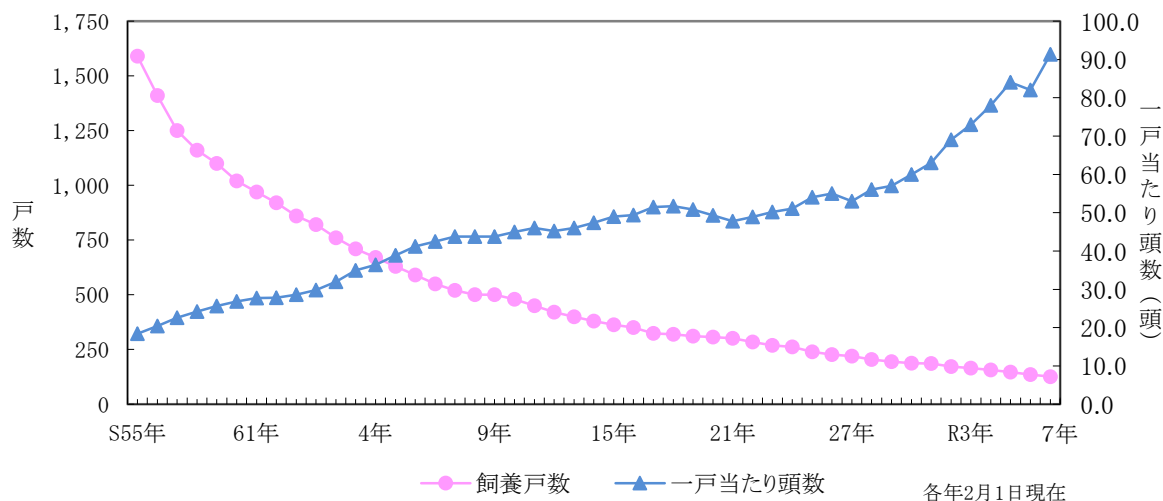
(単位:戸、頭)

区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数 (めす)								一 戸 当 たり 頭 数
		合計	2 歳 以 上					2 歳 未 満		
			計	経 産 牛			未 経 産 牛			
				小 計	搾 乳 牛	乾 乳 牛				
青森県	S55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	27
	H2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	43
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	52
	22.2.1	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	49
	27.2.1	219	11,600	8,120	7,880	6,930	950	230	3,520	53
31.2.1	青森	186	11,700	8,520	8,290	7,210	1,080	240	3,170	63
	全国	15,000	1,332,000	900,500	839,200	729,500	109,700	61,300	431,100	89
R2.2.1	青森	172	11,800	9,180	8,540	7,280	1,270	630	2,650	69
	全国	14,400	1,352,000	900,300	838,900	715,400	123,500	61,400	452,000	94
R3.2.1	青森	165(20)	12,000(17)	9,300	8,680	7,460	1,220	620	2,670	73(17)
	全国	13,900	1,356,000	910,000	849,300	726,000	123,300	60,700	446,400	98
R4.2.1	青森	156(19)	12,200(17)	9,500	8,830	7,570	1,250	670	2,680	78(17)
	全国	13,300	1,371,000	924,000	861,700	736,500	125,200	62,300	447,200	103
R5.2.1	青森	147(19)	12,400(16)	9,410	8,830	7,580	1,250	570	3,030	84(13)
	全国	12,600	1,356,000	896,400	836,600	714,500	122,100	59,800	459,300	108
R6.2.1	青森	136(18)	11,100(17)	8,540	7,950	6,810	1,140	590	2,610	82(20)
	全国	11,900	1,313,000	889,600	826,200	704,800	121,400	63,400	423,000	110
R7.2.1	青森	126(18)	11,500(16)	8,650	8,020	6,770	1,240	640	2,840	91(11)
	全国	11,300	1,293,000	881,400	820,110	696,700	123,400	61,200	411,600	114

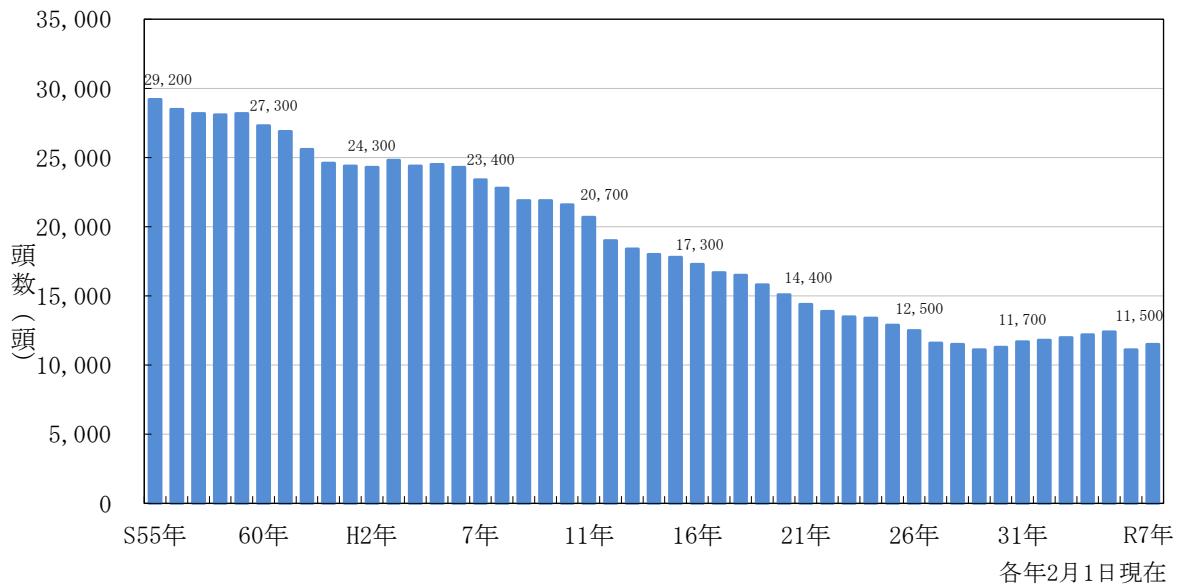
※()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

資料：畜産統計

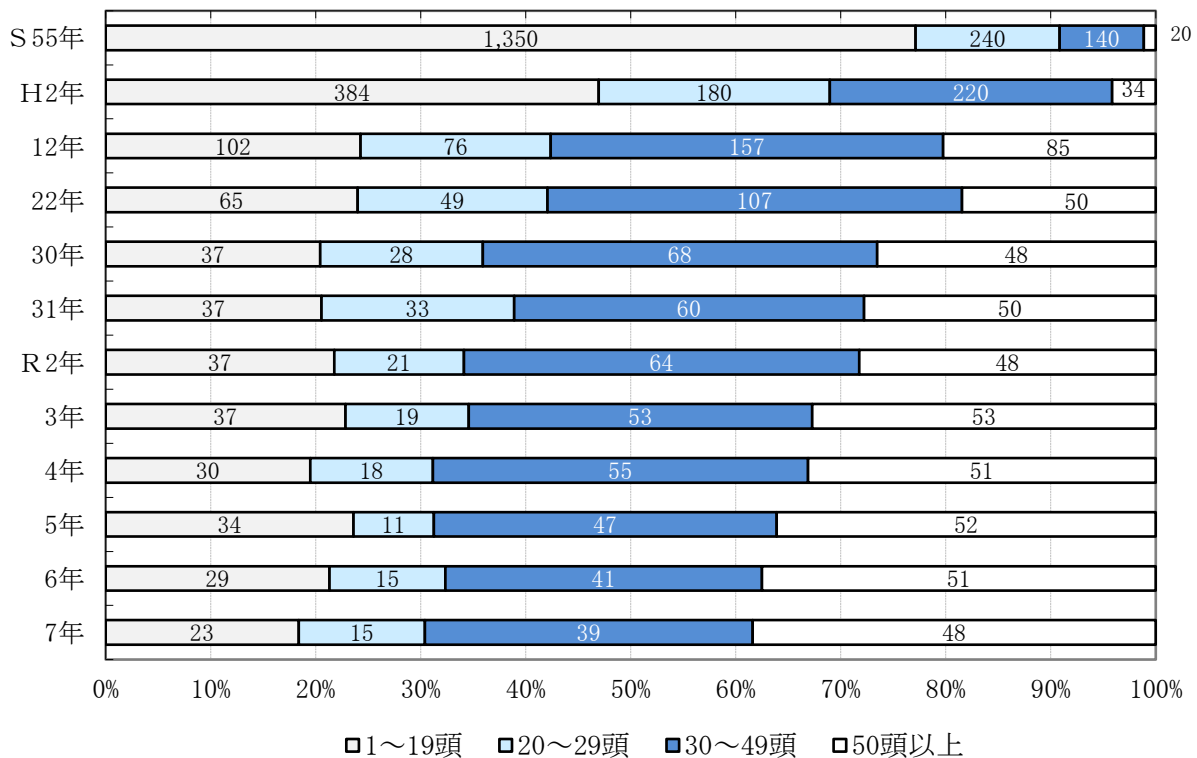
### ①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



## ②飼養頭数の推移



## (2) 頭数規模別飼養戸数とその割合(成畜)



## 2 肉用牛



### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

令和7年の飼養戸数は前年より37戸減少し、651戸となった。飼養頭数は51,700頭で、前年に比べて6.8%減となり、肉用種繁殖めすは、前年に比べ5.9%減の12,700頭となった。

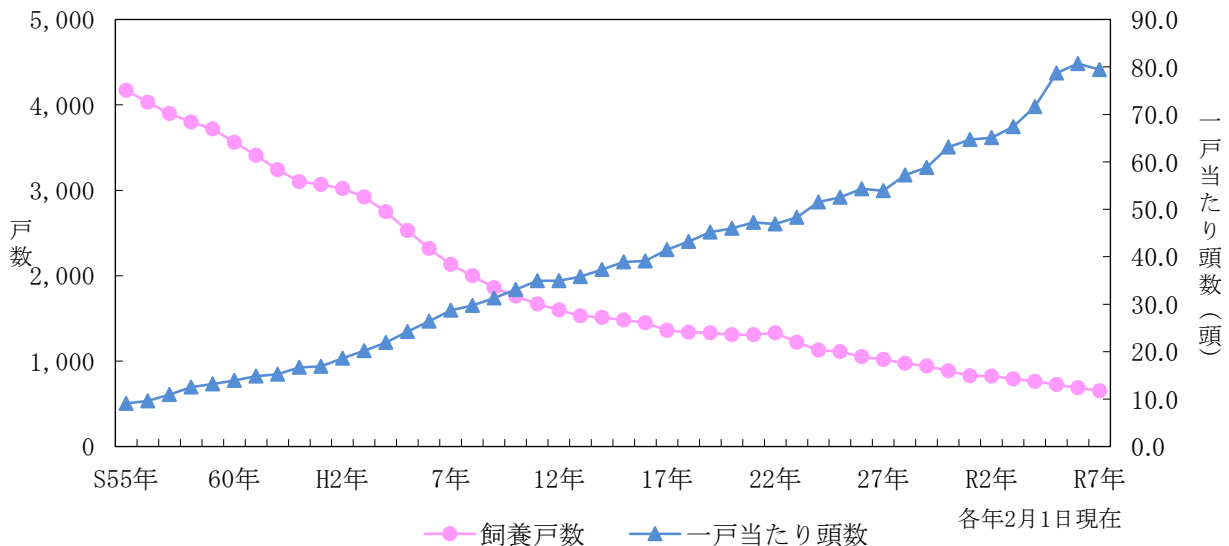
(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数	飼養頭数				一戸当たり頭数		
		計	肉用種めす うち繁殖めす	肉用種おす	乳用種			
青森県	S55.2.1	4,170	37,910	4,930	8,740	10,430	9	
	60.2.1	3,560	49,400	5,800	9,460	19,500	14	
	H2.2.1	3,020	56,200	17,600	8,520	30,100	19	
	7.2.1	2,130	61,200	17,800	13,700	29,600	29	
	12.2.1	1,600	55,800	16,700	10,900	29,400	35	
	17.2.1	1,360	56,500	16,200	10,400	31,200	42	
	22.2.1	1,330	62,400	19,500	14,200	33,600	47	
	27.2.1	1,020	55,000	17,300	12,000	7,320	30,500	54
R2.2.1	青森	824	53,700	19,300	12,900	9,620	24,700	65
	全国	43,900	2,555,000	1,138,000	622,000	654,200	763,400	58
R3.2.1	青森	792(14)	53,400(12)	19,500	13,200	10,400	23,500	67(24)
	全国	42,100	2,604,000	1,162,000	632,800	667,200	775,200	62
R4.2.1	青森	763(13)	54,600(12)	20,000	13,600	10,900	23,800	72(25)
	全国	40,400	2,614,000	1,158,000	636,800	653,600	802,200	65
R5.2.1	青森	726(13)	57,100(12)	20,500	13,800	11,600	25,100	79(24)
	全国	38,600	2,687,000	1,195,000	577,500	686,800	804,400	70
R6.2.1	青森	688(13)	55,500(12)	21,000	13,500	11,900	22,600	81(25)
	全国	36,500	2,672,000	1,201,000	640,400	696,700	774,900	73
R7.2.1	青森	651(13)	51,700(12)	19,900	12,700	11,600	20,300	79(25)
	全国	34,000	2,595,000	1,168,000	611,400	683,400	743,800	76

※ ( ) は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

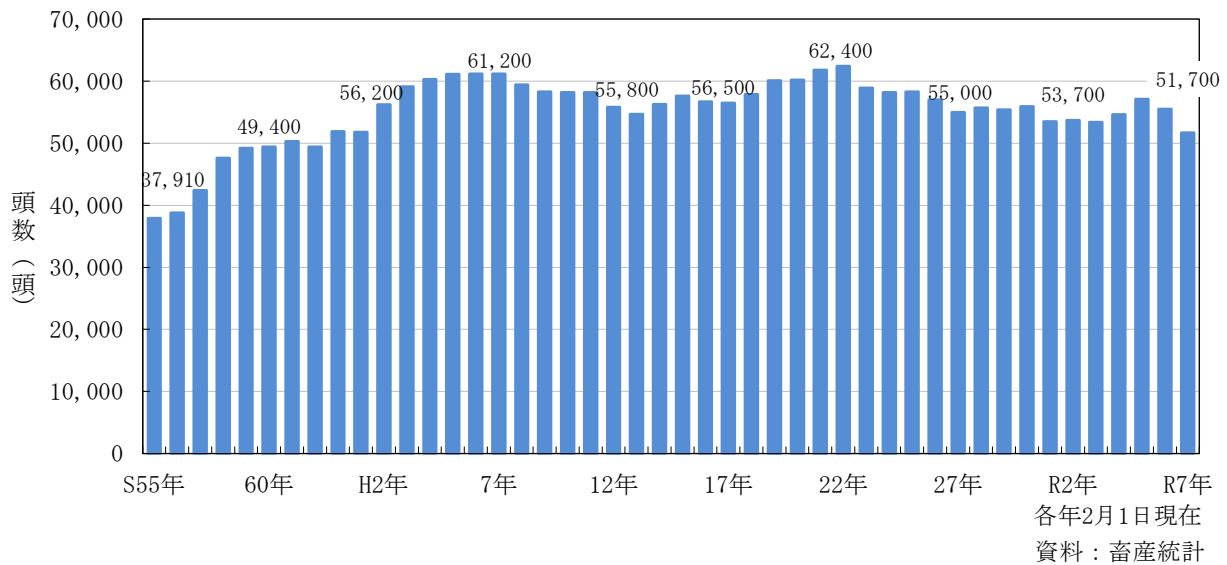
資料：畜産統計

### ①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移

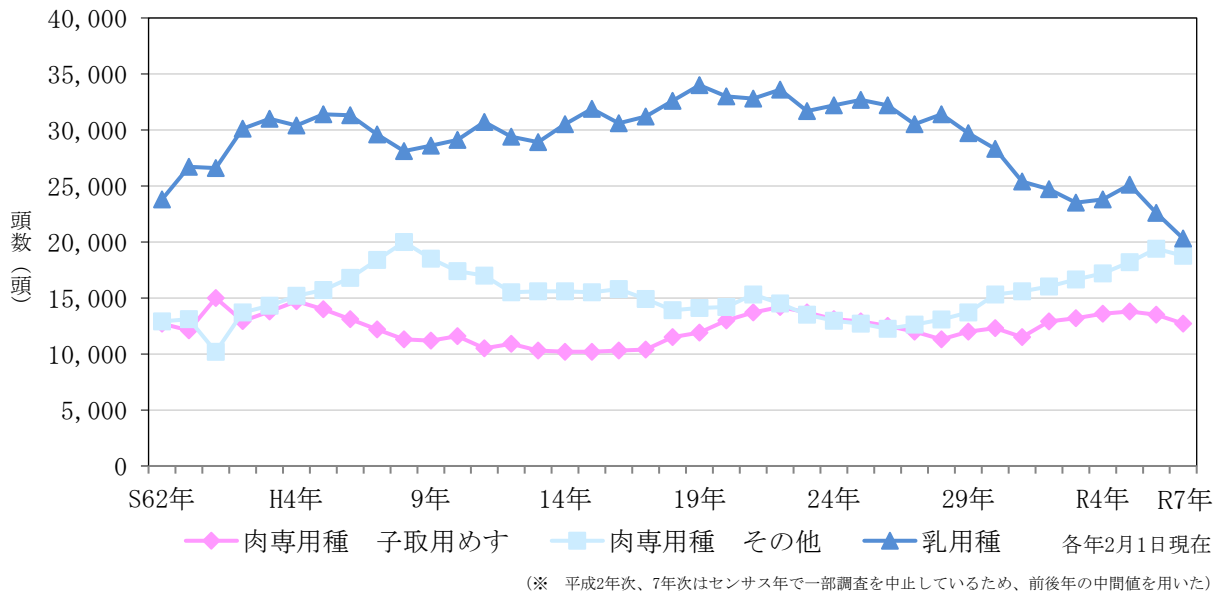


資料：畜産統計

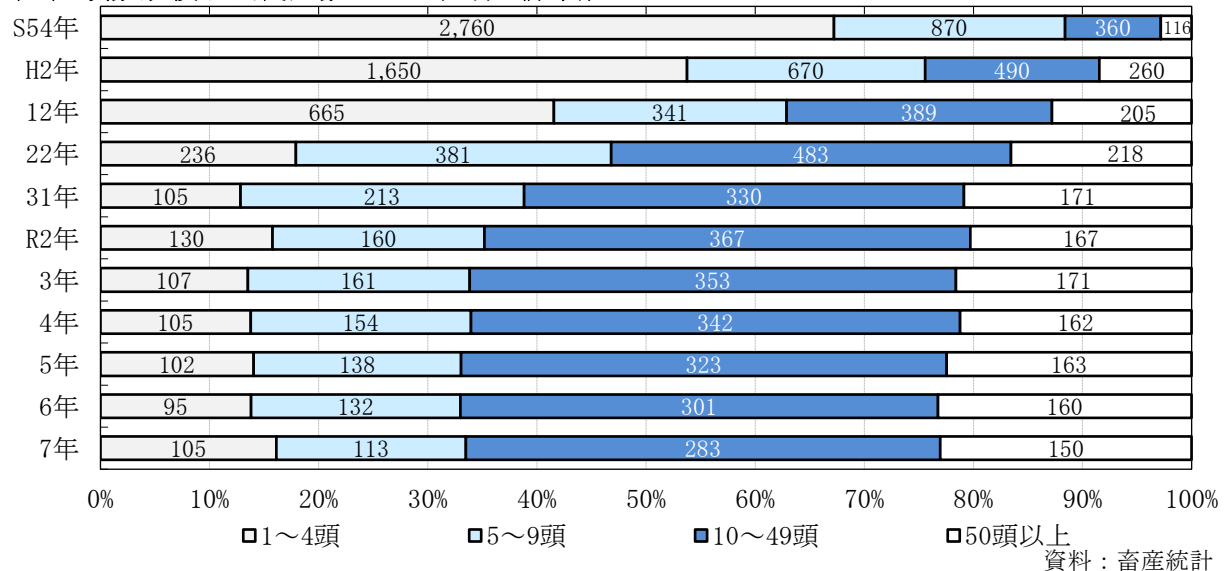
## ②飼養頭数の推移



## ③品種別飼養頭数の推移



## (2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



### 3 豚



#### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は減少が続いており、令和6年は前年より4戸減少し48戸となった。飼養頭数は、前年に比べほぼ横ばいの334,800頭となった。

また、一戸当たりの飼養頭数は年々増加傾向で推移し6,975頭で、全国2位となっている。

(単位:戸、頭)

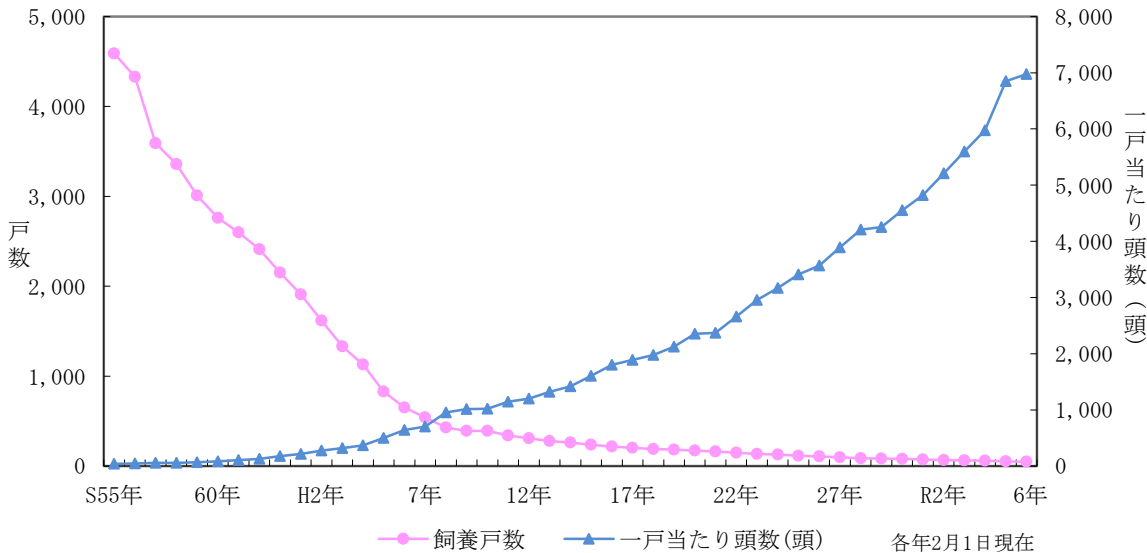
区 分	飼 養 戸 数		飼 養 頭 数		一戸当たり 頭数	
		子取り用めす豚		子取り用めす豚		
青森県	S55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83
	H 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	275
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	701
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802
	21.2.1	163	142	386,600	34,000	2,372
30.2.1	青森	79	55	359,500	31,500	4,551
	全国	4,470	3,640	9,189,000	823,700	2,056
31.2.1	青森	73	54	351,800	32,900	4,819
	全国	4,320	3,460	9,156,000	853,100	2,119
R3.2.1	青森	63(20)	46	352,700(9)	29,100	5,598(3)
	全国	3,850	3,040	9,290,000	823,200	2,413
R4.2.1	青森	60(20)	41	358,600(8)	28,500	5,977(2)
	全国	3,590	2,750	8,949,000	789,100	2,493
R5.2.1	青森	52(20)	37	356,300(8)	29,500	6,852(2)
	全国	3,370	2,640	8,956,000	791,800	2,658
R6.2.1	青森	48(21)	34	334,800(9)	23,400	6,975(2)
	全国	3,130	2,390	8,798,000	758,300	2,811

資料：畜産統計

※平成17年、22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため調査を中止している。

※ ( ) は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

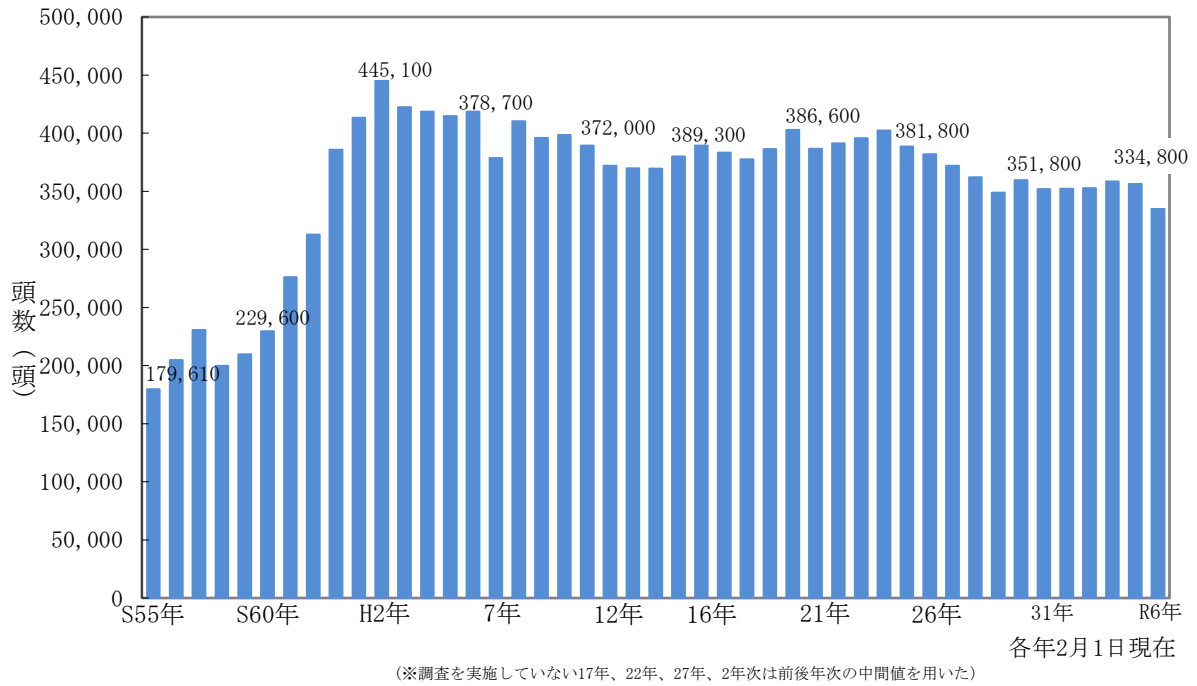
#### ①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



(※ 調査を実施していない17年、22年、27年、2年次は前後年の中間値を用いた)

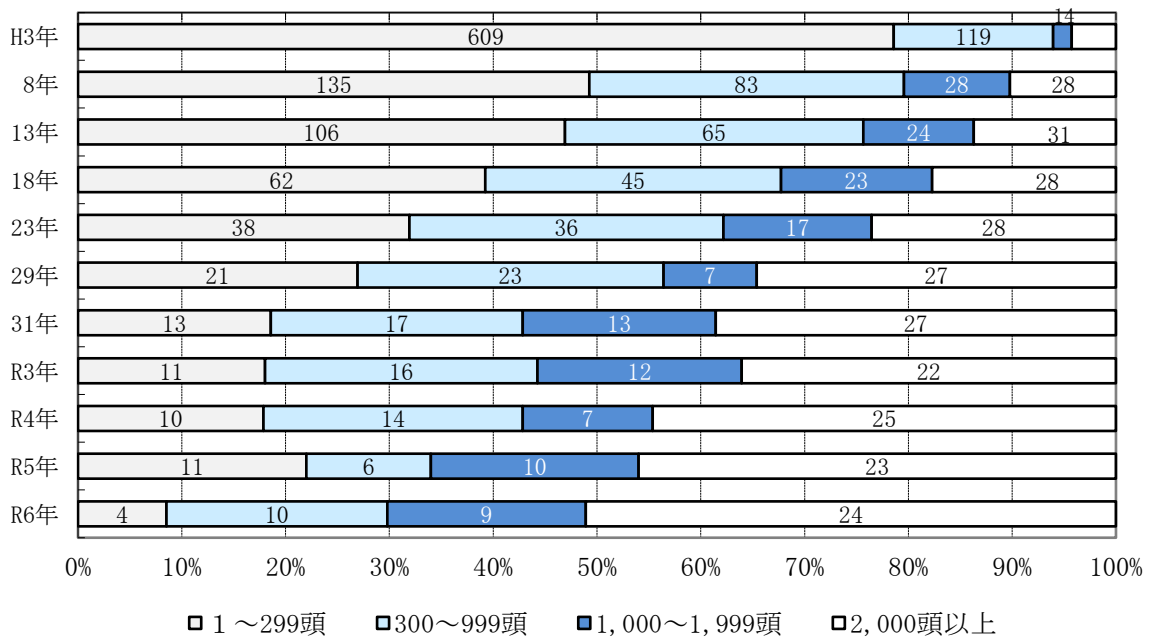
資料：畜産統計

②飼養頭数の推移



資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (肥育豚)



資料：畜産統計

# 4 採卵鶏



## (1) 飼養戸数及び飼養羽数

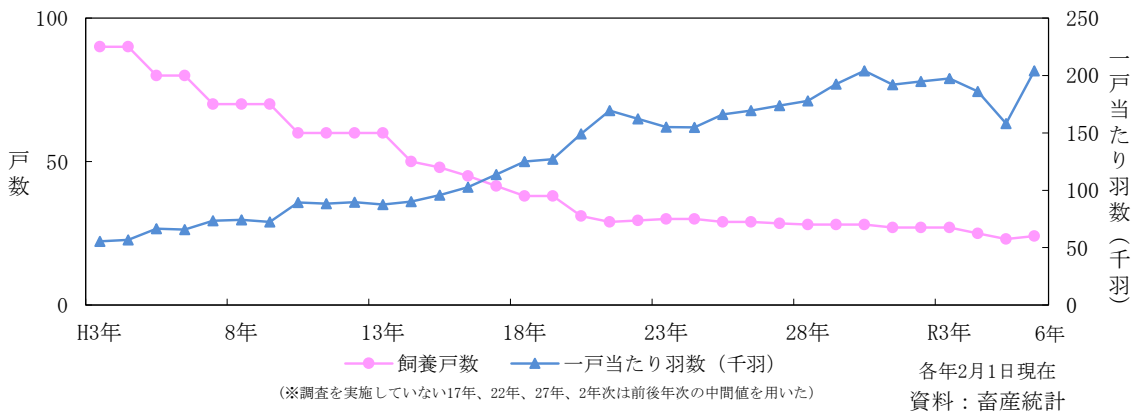
飼養戸数は、ここ数年横ばいで推移しており、令和6年は1戸増加し24戸であった。飼養羽数は、前年に比べて21.3%増の6,540千羽となった。また、一戸当たりの飼養羽数は、全国平均の約2.6倍にあたる204千羽で全国1位の規模となっている。

(単位:戸、千羽)

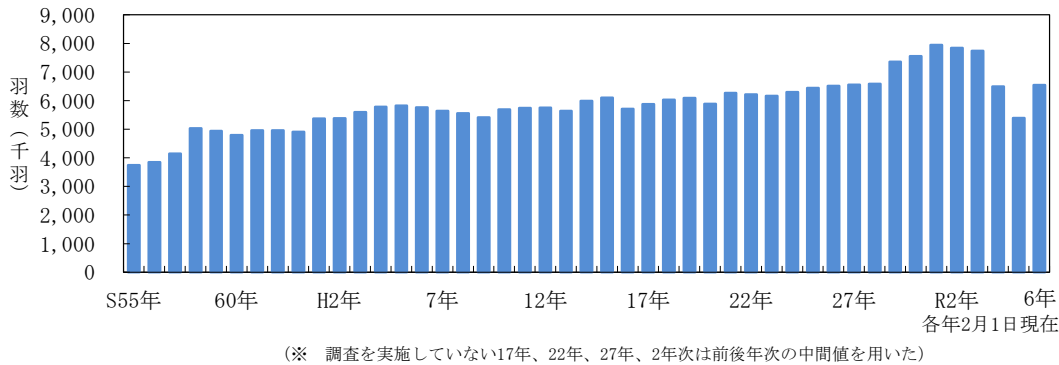
区分	飼養戸数	飼養羽数 (採卵鶏)			一戸あたり 成鶏めす羽数	
		計	成鶏めす	ひな		
R4.2.1	青森	25(27)	6,497(9)	4,650	1,847	186(1)
	全国	1,880	180,096	137,291	42,805	76
R5.2.1	青森	23(29)	5,393(15)	3,635	1,758	158(2)
	全国	1,760	169,810	128,579	41,231	76
R6.2.1	青森	24(27)	6,540(8)	4,902	1,638	204(1)
	全国	1,700	170,776	129,729	38,870	79

※平成17年、22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため調査を中止している。資料：畜産統計  
 ※飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成3年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。  
 ※()は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

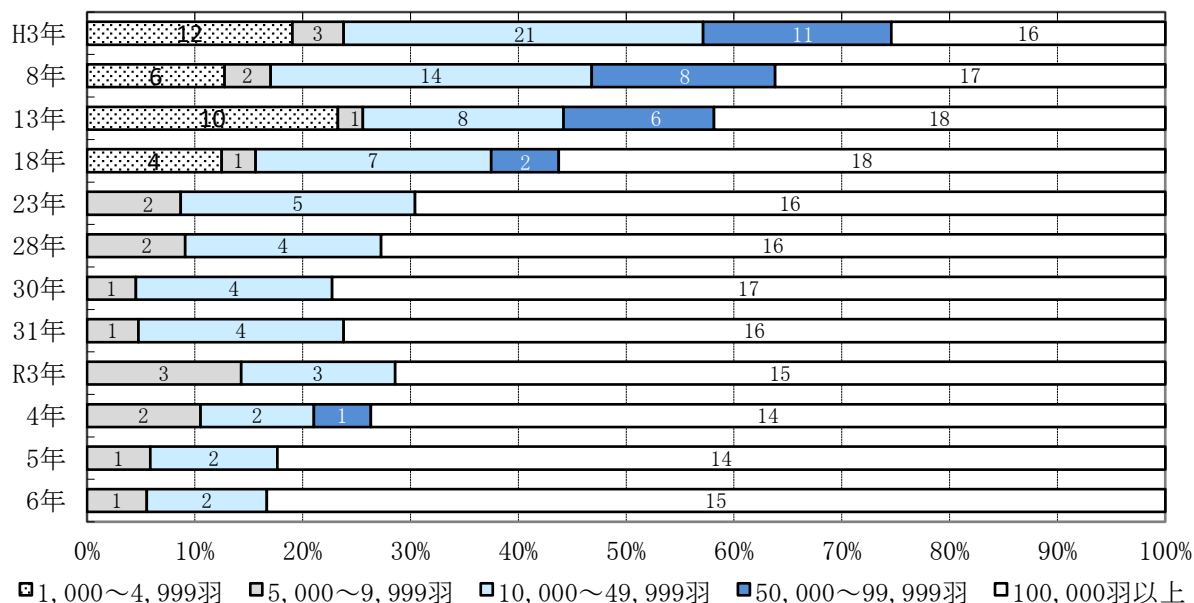
### ①飼養戸数及び一戸当たりの飼養羽数の推移



### ②飼養羽数の推移



## (2) 羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



※令和4年から1,000～4,999羽と5,000～9,999羽が1,000～9,999羽に一本化された。

資料：畜産統計

## 5 ブロイラー



### (1) 飼養戸数及び飼養羽数

令和6年の飼養戸数は59戸、飼養羽数は前年に比べて10.6%増の7,639千羽となった。一戸当たりの飼養羽数は全国平均の約1.8倍にあたる129.5千羽で全国4位の規模となっている。

単位：戸、千羽

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	26年	31年	R5年	6年	
青森県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	58	66	64	60 (7)	59 (6)
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	6,105	6,844	6,943	6,905 (4)	7,639 (4)
	一戸当たり 羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	105.3	103.7	108.5	115.1 (5)	129.5 (4)
全国	飼養戸数	—	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,392	2,380	2,250	2,100	2,050
	飼養羽数	—	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	107,141	135,747	138,228	141,463	144,859
	一戸当たり 羽数	—	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	44.8	57.0	61.4	67.4	70.7

※平成21年までは、食鳥流通統計として調査。

※平成25年からは、畜産統計として調査。年間出荷羽数3,000羽未満の飼養者を除く。

※ ( ) は全国順位。数値未公表の都道府県を除いたもの。

※平成22年、27年、令和2年、令和7年は農業センサス実施年のため調査を中止している。

## 6 その他



### (1) 馬

#### ①軽種馬

(単位:戸、頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	53	46	36	30	32	28
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	438	300	290	251	236	270

各年2月1日現在  
資料: 県畜産課調査

#### ②軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	136	118	116	99	86	82
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,436	1,540	1,845	1,446	1,280	1,310

各年2月1日現在  
資料: 県畜産課調査

### (2) めん羊

※平成24年から調査方法が変更となっている

(単位:頭)

区分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	65	150	177	321	244	370

各年2月1日現在  
資料: 県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)



### (3) 山羊

(単位:頭)

区分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	89	140	106	77	98	120

各年2月1日現在  
資料: 県畜産課調査 (H6年以前は畜産統計)



### (4) 蜜蜂

(単位:戸、群)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	5年	6年	7年
飼育戸数	169	160	118	96	92	75	76	103	123	117	117	110
飼育群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	5,677	5,960	6,057	4,396	2,298	2,295

各年1月1日現在  
資料: 県畜産課調査

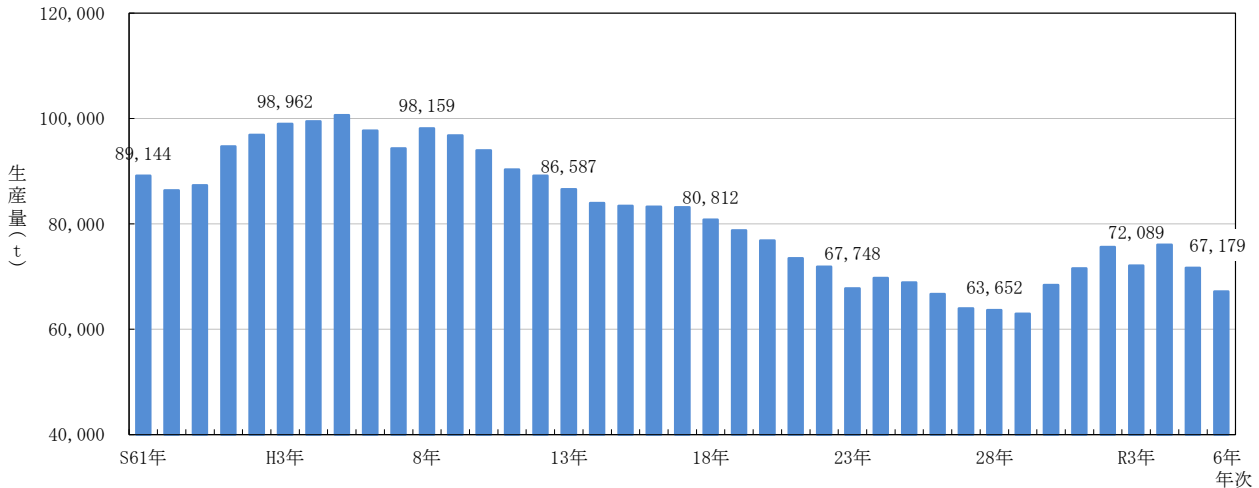
# 第4章 畜産物の流通と価格



## 1 牛 乳

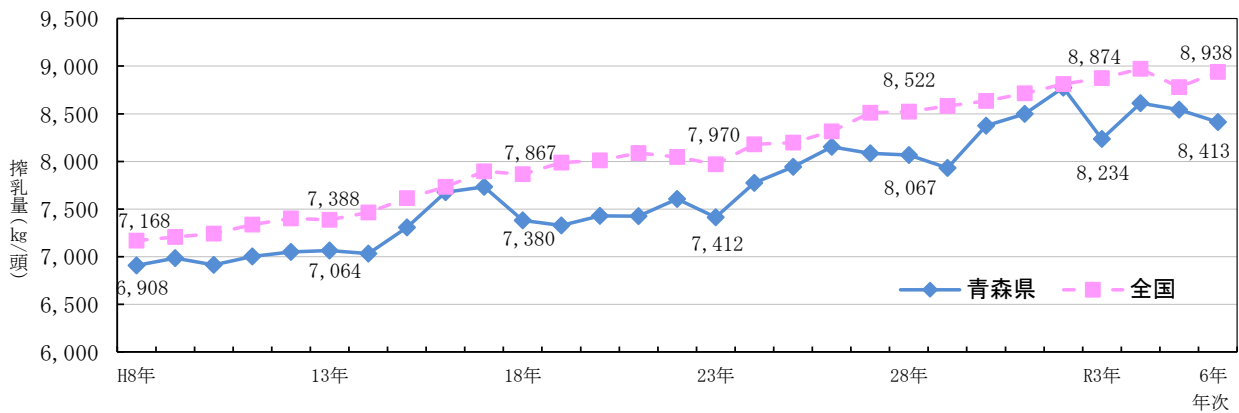
### (1) 生乳生産量

令和6年の生乳生産量は67,179tで、前年に比べて4,485t（6.3%）減少している。



### (2) 経産牛1頭当たり年間搾乳量

令和6年の経産牛1頭当たりの年間搾乳量は、8,413kg/頭となっている。



### (3) 生乳の価格

令和5年度のプール乳価は122.49円/kgで、前年度より約12.62円高くなっている。

(単位：円/kg)

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R2年度	3年度	4年度	5年度
プール乳価 (補給金含む)	96.73	96.41	97.89	100.65	103.85	104.15	104.67	104.84	108.37	107.36	109.87	122.49

資料：東北生乳販売農業協同組合連合会事業概況

(4) 生乳の流通経路 (令和6年次)



県外処理

54,107 t  
(80.5%)



(単位：t、%)

内訳	数量	割合
宮城県	22,845	42.2
茨城県	14,975	27.7
岩手県	9,908	18.3
その他	6,379	11.8
計	54,107	

資料：牛乳乳製品統計

生乳生産量  
67,179 t



県内処理

13,072 t  
(19.5%)

生乳処理量  
13,072 t

用途	数量	割合
飲用牛乳等向け	12,827t	(98.1%)
乳製品向け	21t	(0.2%)
その他向け	224t	(1.7%)

※その他向け：自家消費、子牛は乳用、輸送・製造行程の減耗等を含む。

生産量	
飲用牛乳等	はっ酵乳
牛乳	504
12,216kl	うち学乳向け 2,416kl



資料：牛乳乳製品統計

※平成28年から令和5年までは牛乳乳製品統計の公表方法が変更となり、県内処理の内訳が非表示となったため、県内乳業工場からの報告データを使用



牛 乳  
12,216kl  
(60.2%)



飲用牛乳等  
県内推定出回り量  
20,276kl



飲用牛乳等出荷量

131 kl  
(0.6%)



飲用牛乳等入荷量

8,191 kl  
(40.4%)

(単位：kl、%)

内訳	数量	割合
北海道	2,532	30.9
岩手県	4,580	55.9
秋田県	938	11.5
その他	141	1.7
計	8,191	

資料：牛乳乳製品統計

## 2 肉用牛

### (1) 子牛の取引頭数

令和6年の本県の子牛取引頭数は、前年より3.5%減の9,935頭となっている。

(単位：頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	4年	5年	6年	
初生子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,268	6,059	6,637	7,412	7,476
	F1・乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	6,965	5,468	3,456	2,882	2,459
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	14,233	11,527	10,093	10,294	9,935

資料：全国肉用牛振興基金協会調査

### (2) 子牛の価格

令和6年の県内市場における子牛価格は、黒毛和種は527千円（対前年比4.2%減）、日本短角種は195千円（対前年比13.4%増）となっている。

(単位：千円(税込))

区分	S55年		60年		H2年		7年	12年	17年	22年	27年	4年	5年	6年		
	春	秋	春	秋	春	秋	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月		
品種別	黒毛和種		285	305	157	206	355	318	279	355	470	387	639	655	550	527
	日本短角種		272	277	177	205	273	187	127	107	209	164	314	240	172	195
子牛平均価格		267	284	161	205	330	260	241	337	462	385	635	655	550	526	

資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

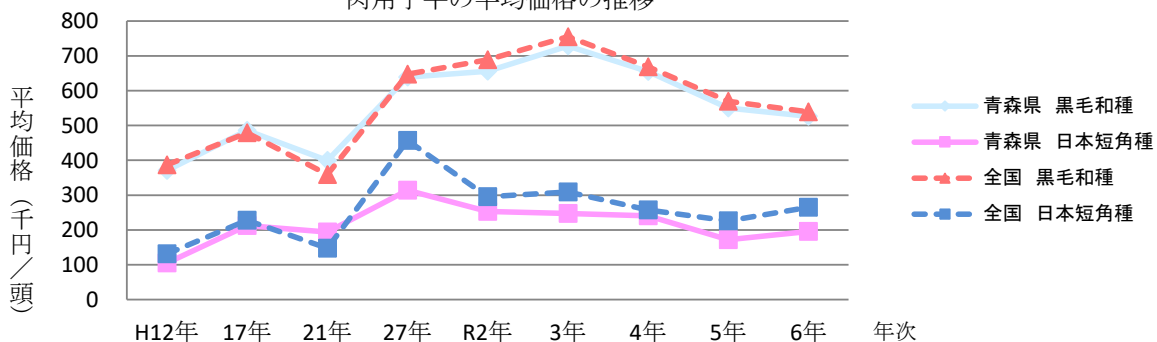
### (3) 肉用子牛取引状況

(単位：頭、kg、円、円/kg(税込))

区分	青森県				全国				
	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成27年	4,995	293	638,559	2,176	326,300	278	647,489	2,332
	令和2年	6,163	313	656,130	2,093	342,798	295	688,976	2,332
	令和3年	6,328	314	728,212	2,318	348,530	295	755,156	2,561
	令和4年	6,412	317	654,755	2,067	360,813	296	668,528	2,259
	令和5年	6,783	317	550,210	1,736	366,887	297	569,134	1,918
	令和6年	6,686	318	526,746	1,655	363,243	299	538,854	1,801
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成27年	58	248	314,019	1,267	963	239	456,982	1,915
	令和2年	26	280	253,000	904	793	242	295,502	1,219
	令和3年	11	277	246,900	893	723	241	308,806	1,282
	令和4年	2	323	240,350	745	728	243	257,191	1,060
	令和5年	2	254	172,150	679	688	237	226,016	954
	令和6年	21	309	195,433	632	607	239	265,191	1,109

資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

肉用子牛の平均価格の推移

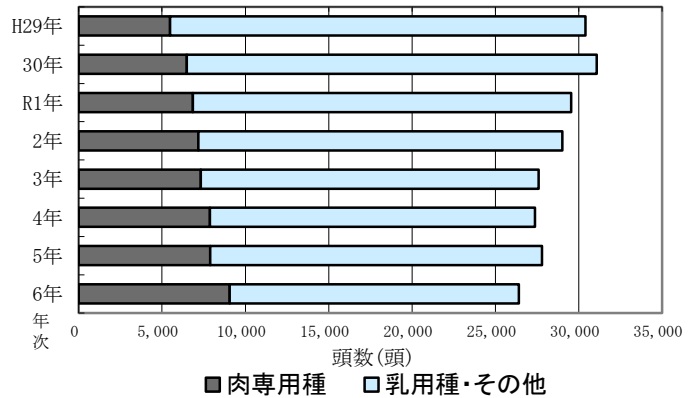


### (3) 肉用牛（成牛）の出荷頭数

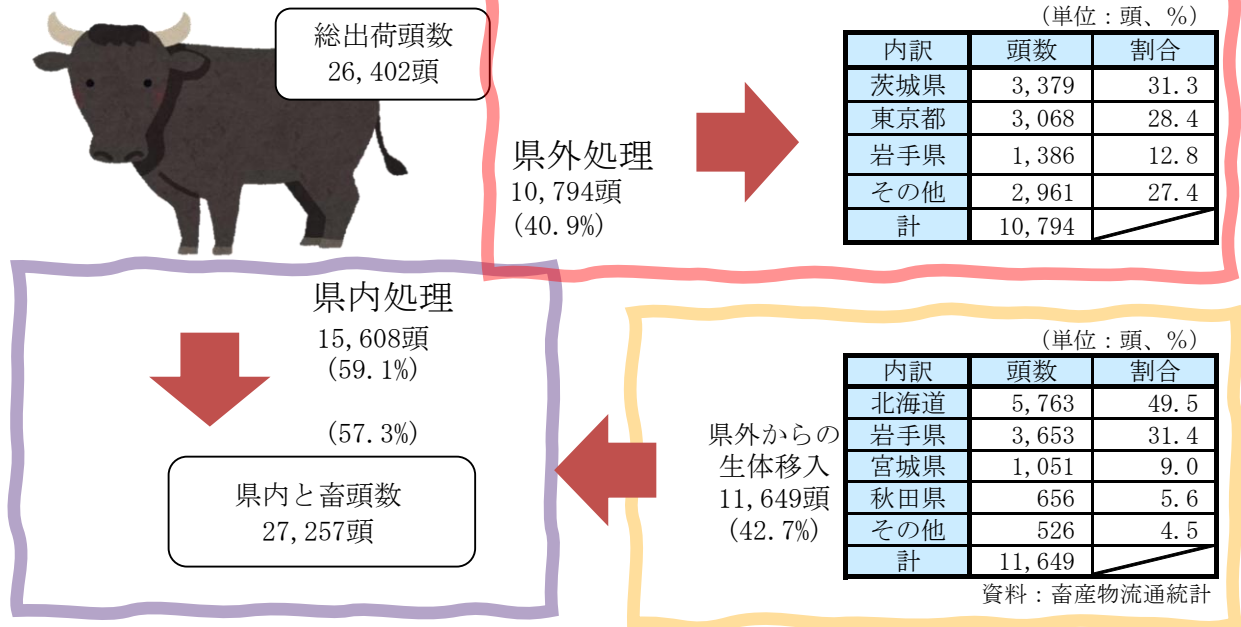
令和6年の出荷頭数は、前年の1.5%増の27,792頭で、種類別内訳は、乳用種及びその他72%、肉専用種28%となっている。

(単位：頭)

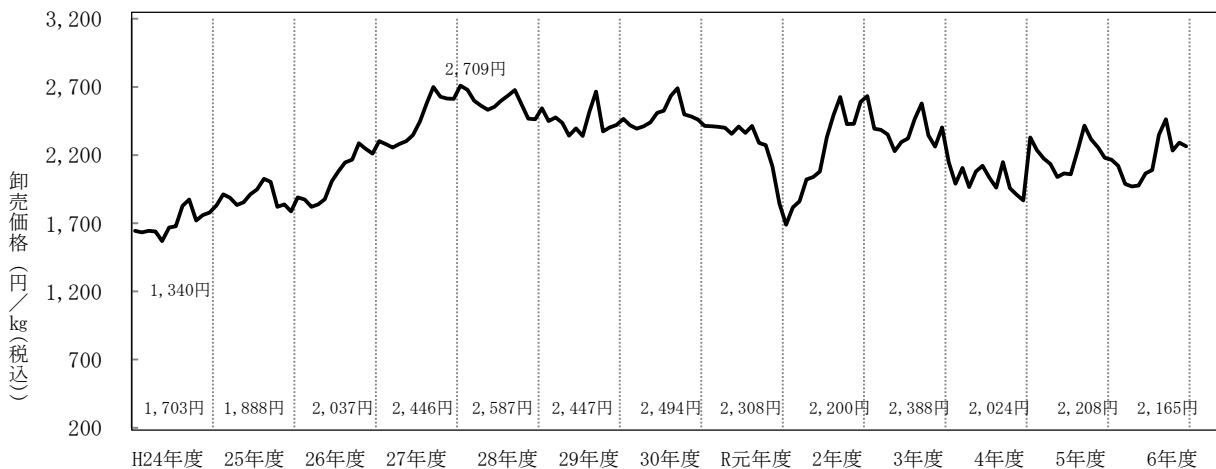
	肉専用種	乳用種・その他	合計
H29年	5,481	24,919	29,352
30年	6,481	24,605	30,400
R1年	6,847	22,705	29,552
2年	7,175	21,834	29,009
3年	7,335	20,262	27,597
4年	7,873	19,510	27,383
5年	7,894	19,898	27,792
6年	9,057	17,345	26,402



### (4) 肉用牛の流通（令和6年次）



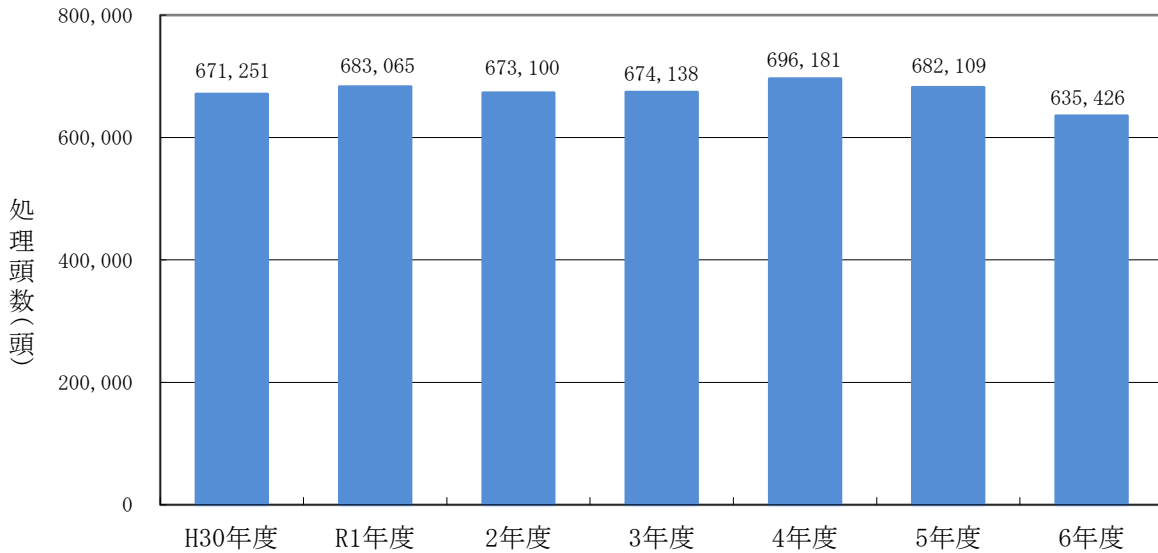
### (5) 牛枝肉の卸売価格の推移（東京市場「和牛去勢A4」）



### 3 豚

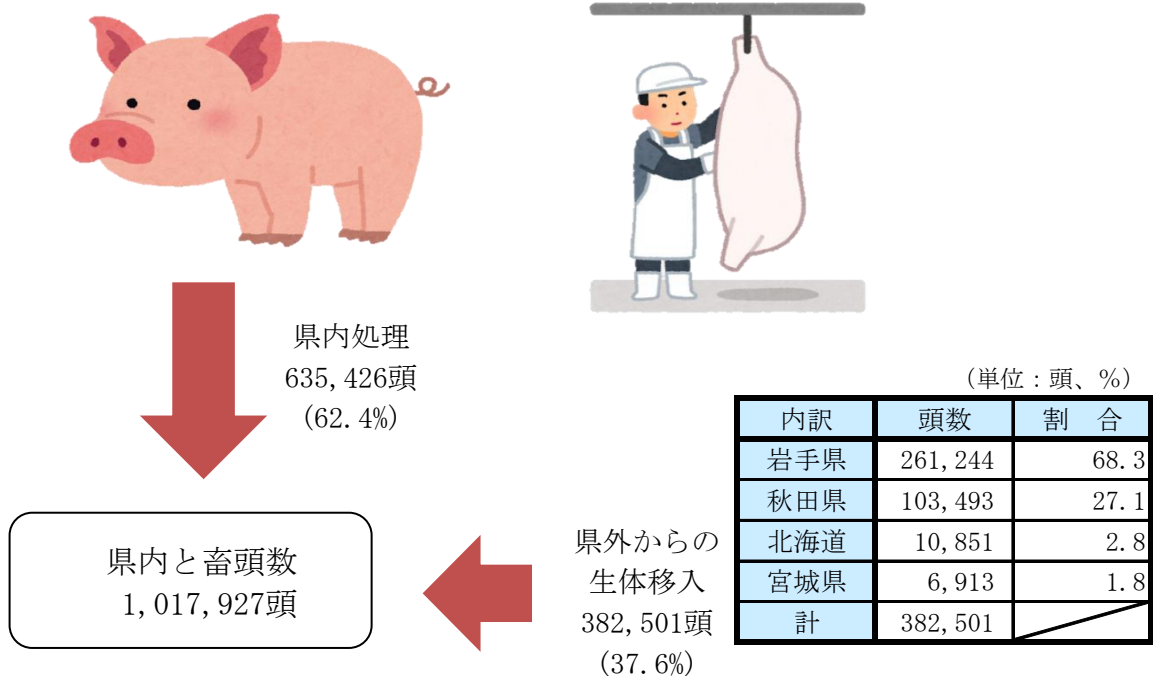
#### (1) 肉豚の県内処理頭数

令和6年度の肉豚の県内処理頭数は、前年に比べて6.8%減の635,426頭となっている。



資料：県食肉衛生検査所調査

#### (2) 肉豚の流通（令和6年度）



資料：県食肉衛生検査所調査

(3) 子豚の価格

(単位：円/頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R3	R4	R5
価格	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	15,974	19,864	15,497	17,262	10,778

※令和6年以降は県内市場における取引なし

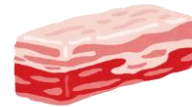
資料：県畜産課調査

(4) 豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

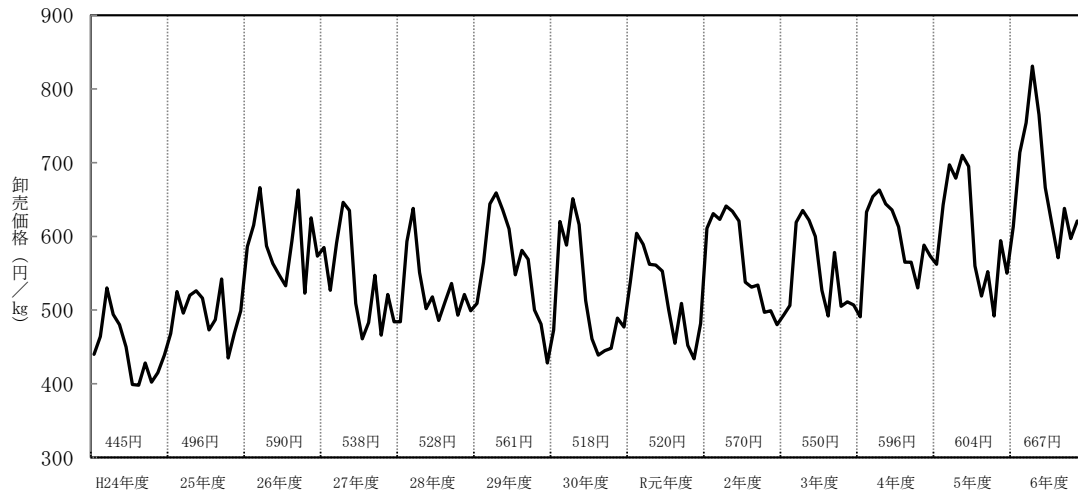
(単位：円/kg)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R4	R5	R6
価格	628	601	486	458	436	480	462	557	588	607	612

資料：畜産物流通統計



<参考> 豚枝肉の卸売価格の推移（東京市場「上」）



資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

## 4 鶏 卵



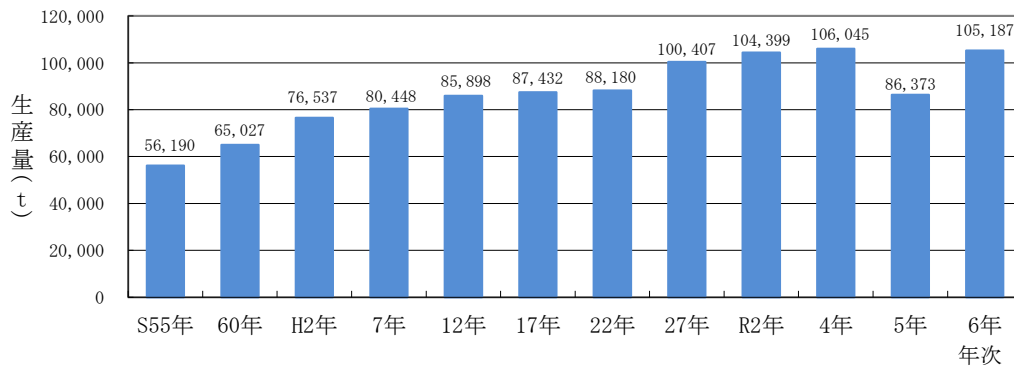
### (1) 鶏卵の生産量及び出荷量

令和6年の本県鶏卵の生産量は、前年に対して21.8%増の105,187tとなっている。

(単位：t)

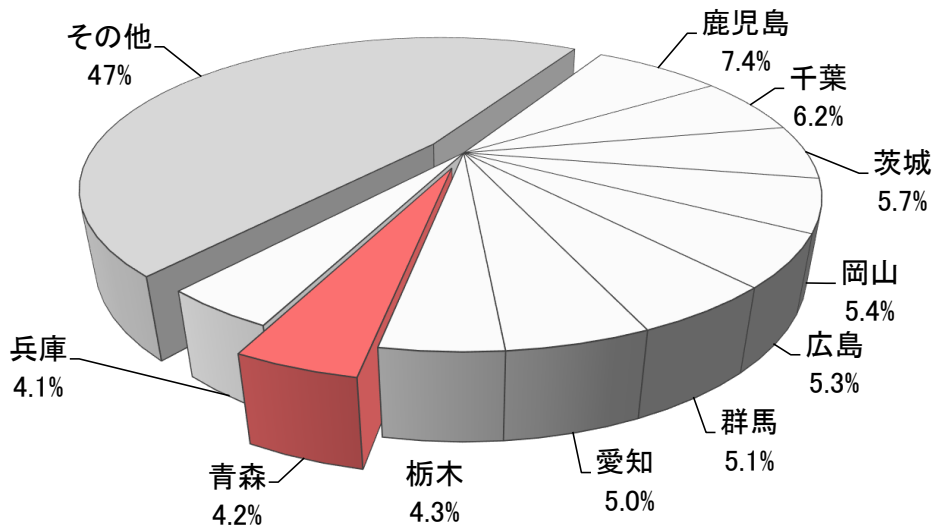
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	R2年	4年	5年	6年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	88,180	100,407	104,399	106,045	86,373	105,187
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	86,538					

※出荷量は平成27年以降データなし



資料：畜産物流通統計

### (2) 鶏卵の都道府県別生産量 (令和6年次)



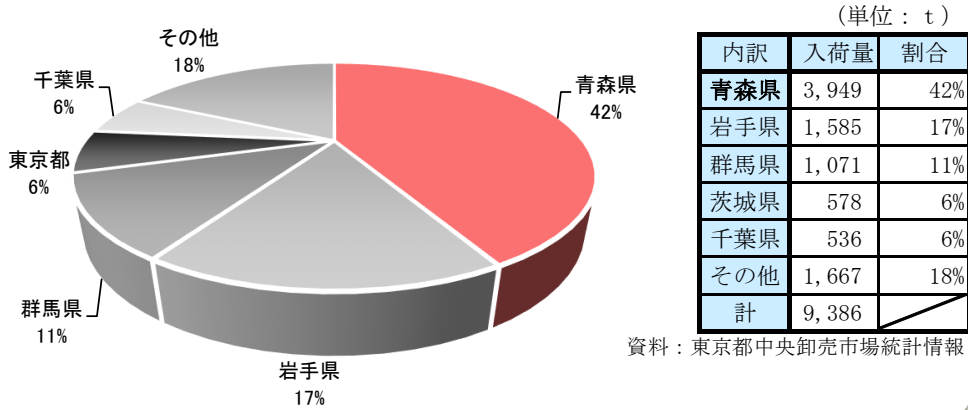
内訳	鹿児島	千葉	茨城	岡山	広島	群馬	愛知	栃木	青森	兵庫	その他	合計
生産量	184,584	154,400	142,464	134,561	130,829	127,180	125,255	105,490	105,187	102,024	1,168,689	2,480,663
割合	7.4%	6.2%	5.7%	5.4%	5.3%	5.1%	5.0%	4.3%	4.2%	4.1%	47.1%	

※青森県は全国9位 割合4.2%

資料：畜産物流通統計

### (3) 東京都中央卸売市場入荷量に占める県産鶏卵の割合（令和6年次）

本県産鶏卵の東京都中央卸売市場への入荷量は、全国第1位の3,949tで、全入荷量の42%を占めている。



資料：東京都中央卸売市場統計情報



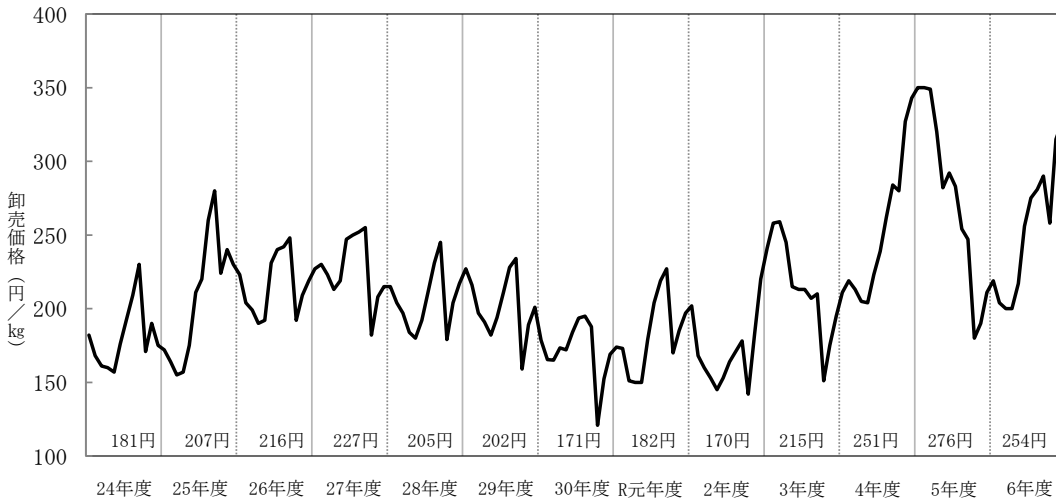
### (4) 鶏卵の卸売価格（東京市場、規格「M」）

(単位：円/kg)

区分	S55年度	60年度	H2年度	7年度	12年度	17年度	21年度	26年度	R2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
卸売価格	300	279	241	197	185	167	175	216	170	215	251	276	254

資料：JA全農たまご（株）「たまご相場」  
(昭和60年までは畜産物流通統計)

### <参考> 鶏卵卸売価格の推移（東京市場、規格「M」）



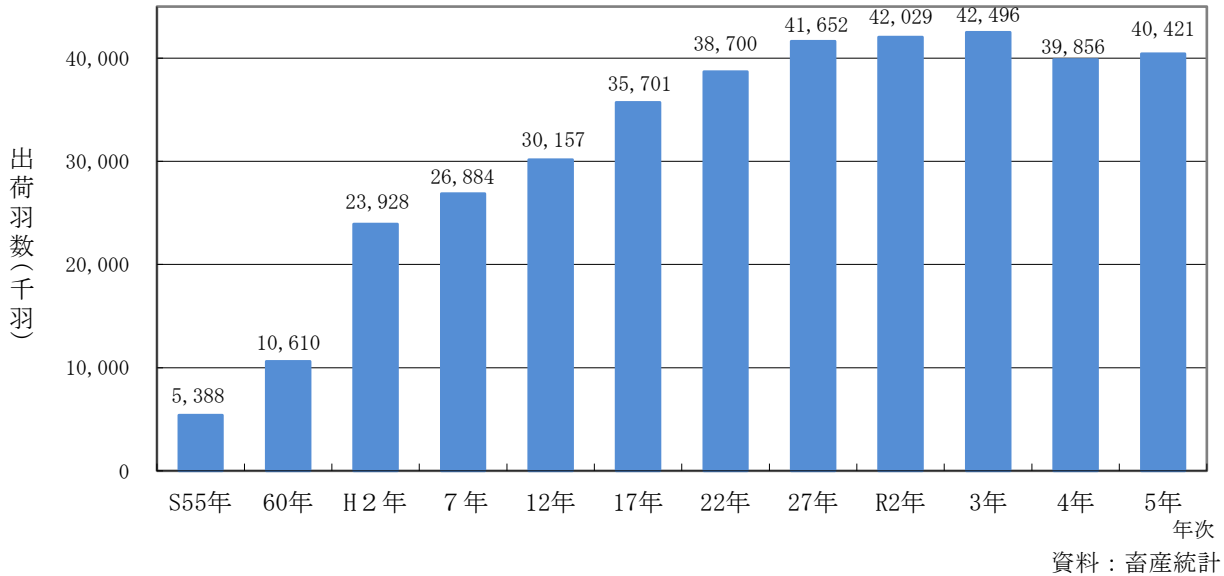
資料：全農畜産販売部情報

## 5 ブロイラー



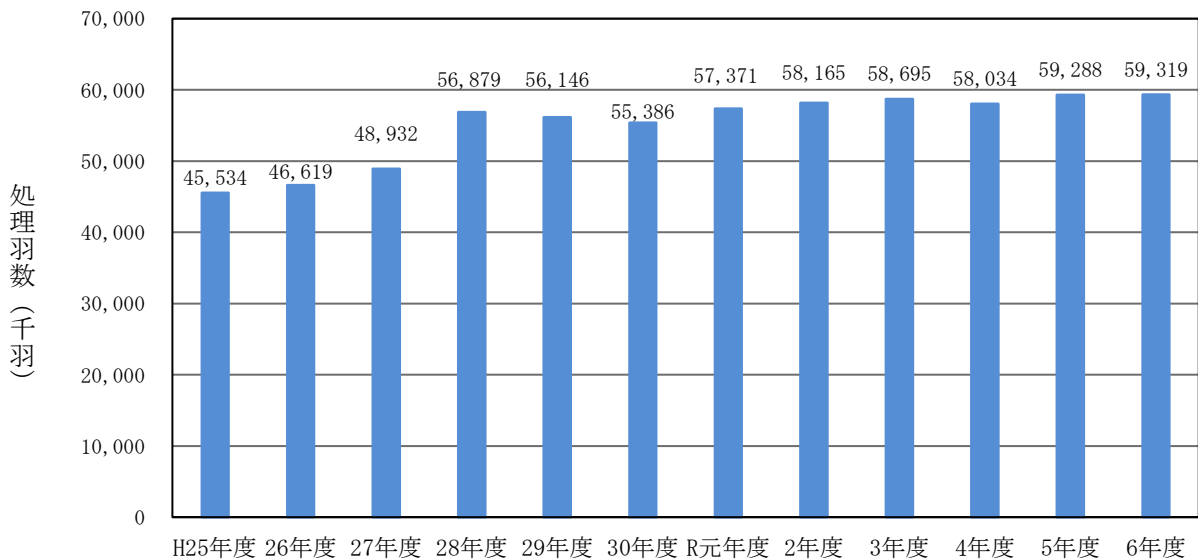
### (1) ブロイラー出荷羽数

令和5年の出荷羽数は、前年に比べて1.4%増の40,421千羽となっている。



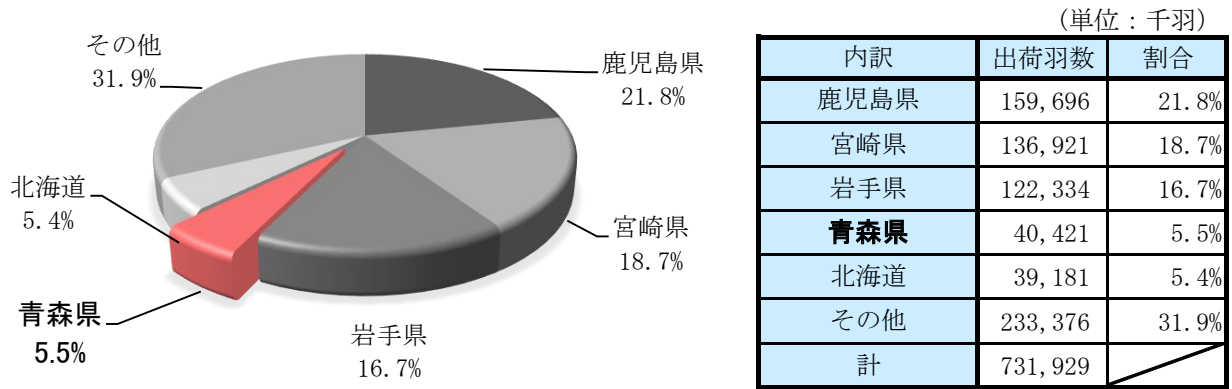
### (2) ブロイラー処理量

令和6年度の県内処理羽数は、前年に比べて同程度の59,319千羽となっている。



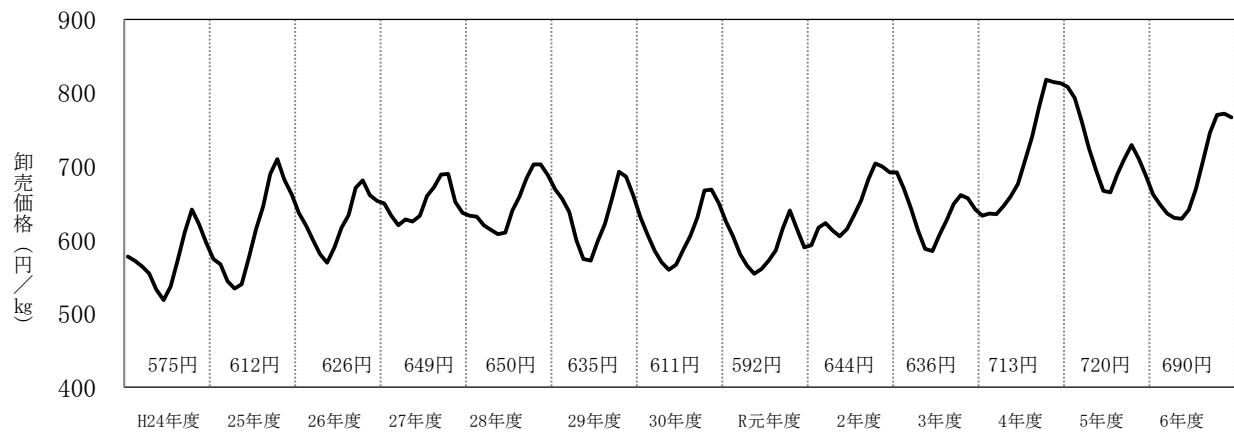
### (3) ブロイラーの都道府県別出荷羽数（令和5年次）

本県産ブロイラーの出荷羽数は、全国4位の40,421千羽で全体の5.5%を占めている。



資料：畜産統計

### (4) 鶏肉の卸売価格の推移（東京市場、もも肉）



資料：食鳥市況情報、ブロイラー卸売価格

## 6 畜産物支出金額、購入数量

### 1人当たり支出金額、購入数量（令和6年次）

(単位：円、g、本)

区分		消費支出	食料費	畜産物					
				牛乳※	卵	牛肉	豚肉	鶏肉	生鮮魚介
青森市 世帯人数 2.80人	支出金額	1,118,230	360,198	5,742	3,836	5,309	11,168	6,197	16,764
	購入数量	—	—	127	12,451	1,514	7,883	6,213	8,757
全 国 世帯人数 2.88人	支出金額	1,251,012	374,732	5,524	4,142	7,403	11,742	6,609	14,092
	購入数量	—	—	118	10,786	1,920	7,582	6,473	6,293

※牛乳の購入数量は200ml 1本換算

資料：家計調査年報

# 第5章 畜産物の生産費と収益性

## 1 生 乳

### (1) 生乳生産費

令和5年の生乳100kg（乳脂肪分3.5%換算乳量）当たりの費用合計は11,731円となり、流通飼料費（45.3%）と労働費（16.1%）が高い割合を占めている。

（単位：円/100kg）

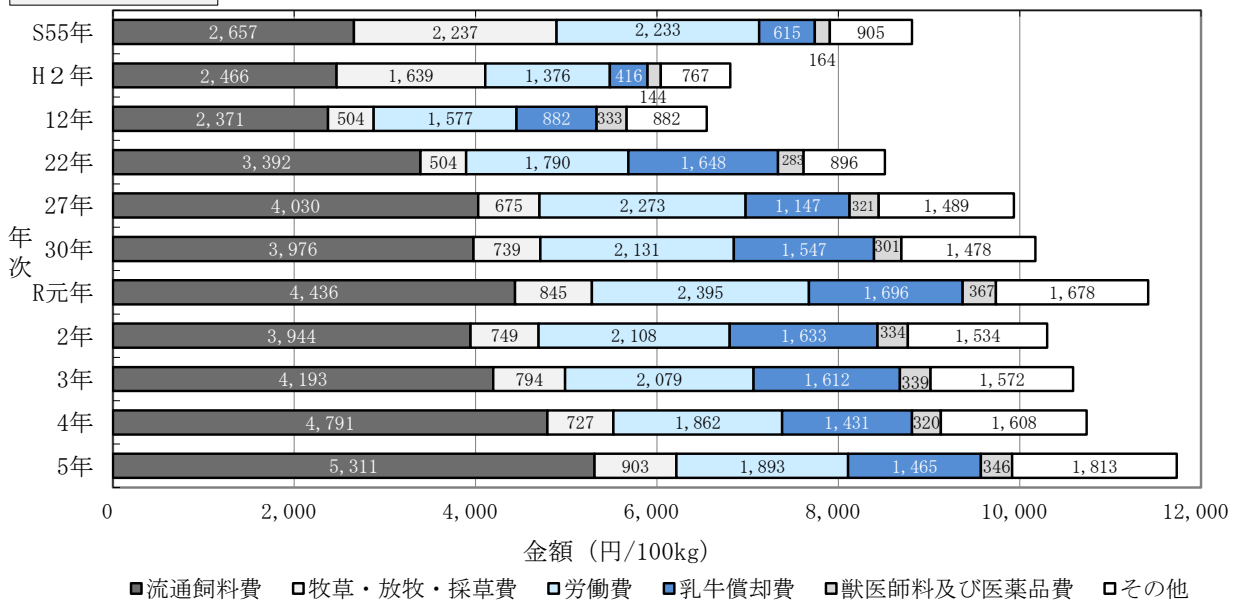
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	28年	R2年	R3年	R4年	R5年	
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	8,490	9,152	8,957	9,311	9,893	11,076
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	8,513	9,935	10,302	10,589	10,739	11,731

※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

#### 費用合計の内訳



#### ○全算入生産費とは

生産費 = 費用合計 - 副産物価格

全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

### (2) 生乳生産における収益性

令和5年の搾乳牛1頭当たり（通年換算）の所得は、前年に比べて14.6%減の124,273円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	28年	2年	3年	4年	5年	
収益性	所得(搾乳牛1頭)	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	164,052	255,459	271,034	246,612	145,521	124,273
	家族労働報酬(1日)	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	10,180	14,192	16,614	14,957	9,250	8,238

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

## 2 肉用牛

### (1) 子牛生産費

令和5年の子牛1頭当たりの費用合計は、695,028円となり、流通飼料費(33.7%)と労働費(24.6%)が高い割合を占めている。

(単位：円/頭)

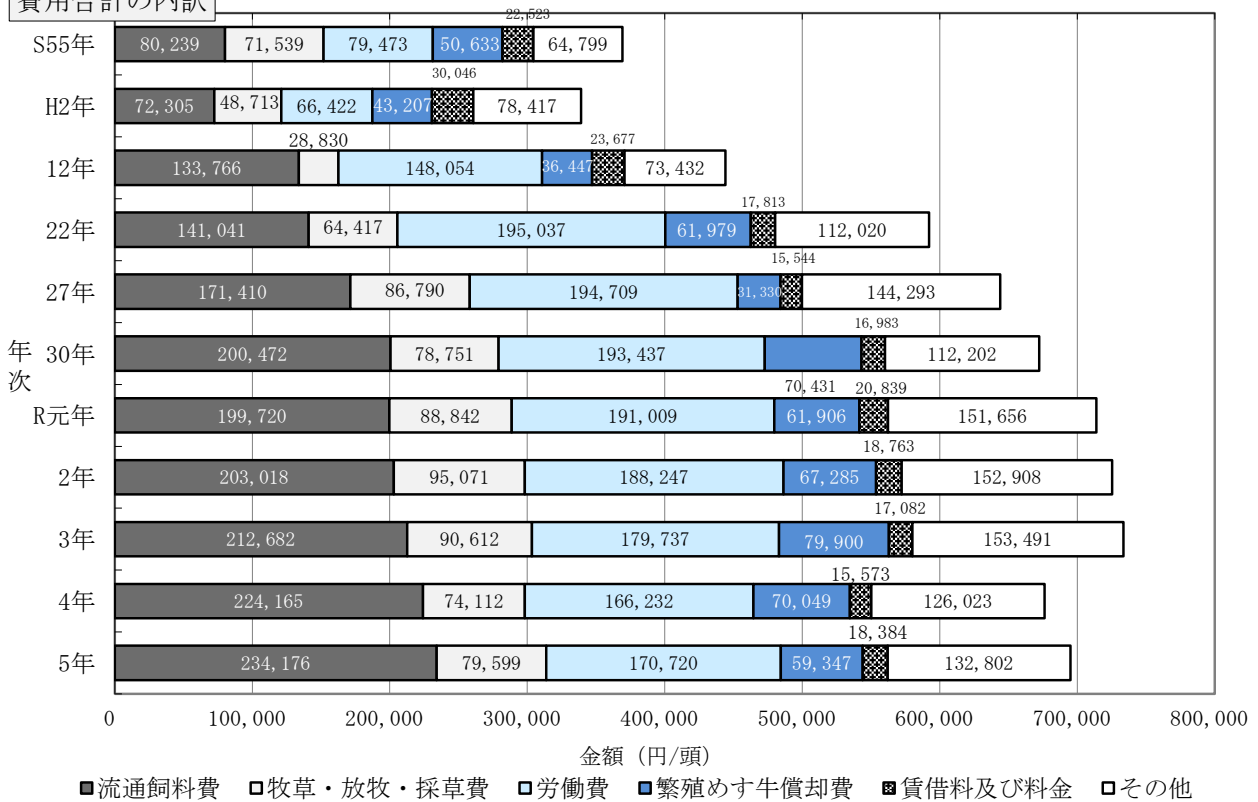
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年	
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	721,846	712,172	800,524	823,830	734,706	752,552
費用合計		369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	586,878	644,076	725,292	733,504	676,154	695,028

※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

#### 費用合計の内訳



### (2) 子牛生産における収益性

令和5年の繁殖めす牛1頭当たりの所得は、前年に比べて96.7%減の4,123円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年	
収益性	所得	42,251	△78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	△10,089	220,427	107,123	141,728	123,832	4,123
家族労働報酬(1日)	△21,114	△15,064	15,894	△3,586	△637	1,526	-	8,384	839	2,051	3,351	-	

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

### (3) 肥育牛（去勢若齢）生産費

令和5年の肥育牛1頭当たりの費用合計は、1,516,471円となり、もと畜費（54.6%）と流通飼料費（32.5%）が高い割合を占めている。

（単位：円/頭）

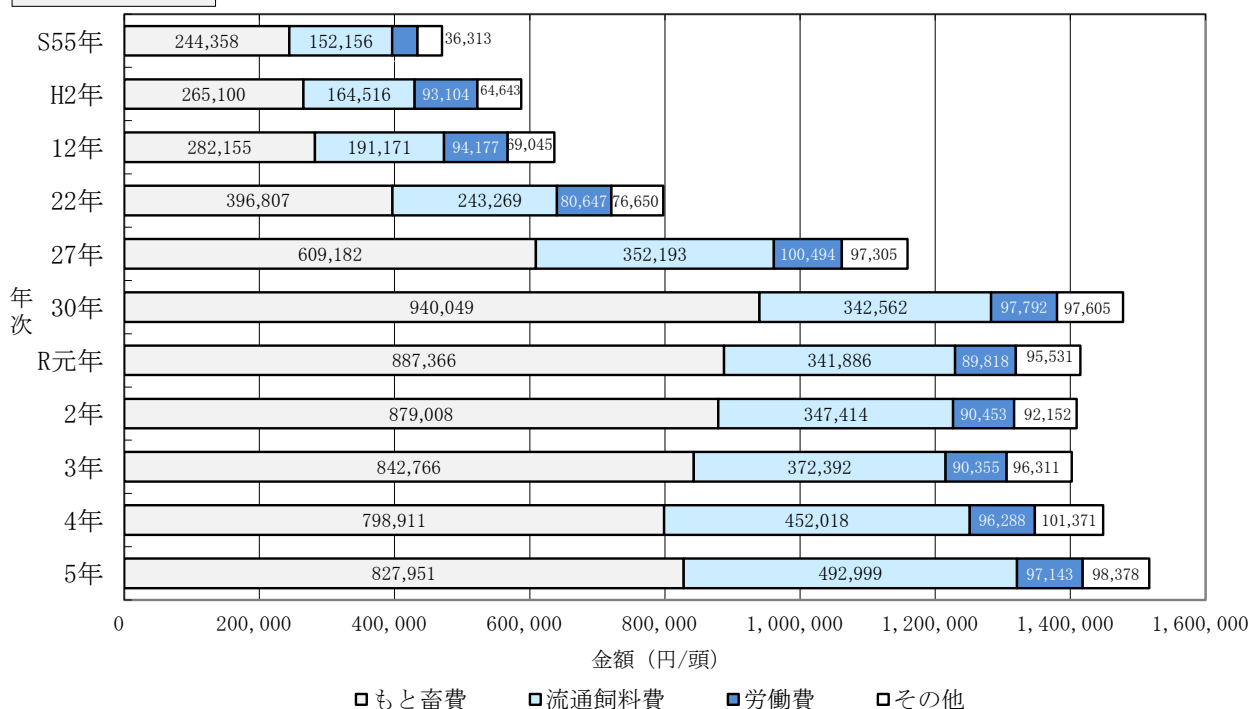
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年	
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	825,090	1,175,121	1,413,614	1,409,475	1,452,028	1,520,687
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	797,373	1,159,174	1,409,027	1,401,824	1,448,588	1,516,471

※平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

#### 費用合計の内訳



### (4) 肥育牛（去勢若齢）生産の収益性

令和5年の肥育牛1頭当たりの所得は、△110,894円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年	
収益性	所得(1頭)	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	8,866	165,800	△120,814	22,358	△28,257	△110,894
	家族労働報酬(1日)	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	—	18,394	—	918	—	—

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

### 3 豚

#### (1) 肥育豚生産費

令和5年の肥育豚1頭当たりの費用合計は、43,014円となり、流通飼料費（71.4%）と労働費（9.5%）が高い割合を占めている。

（単位：円/頭）

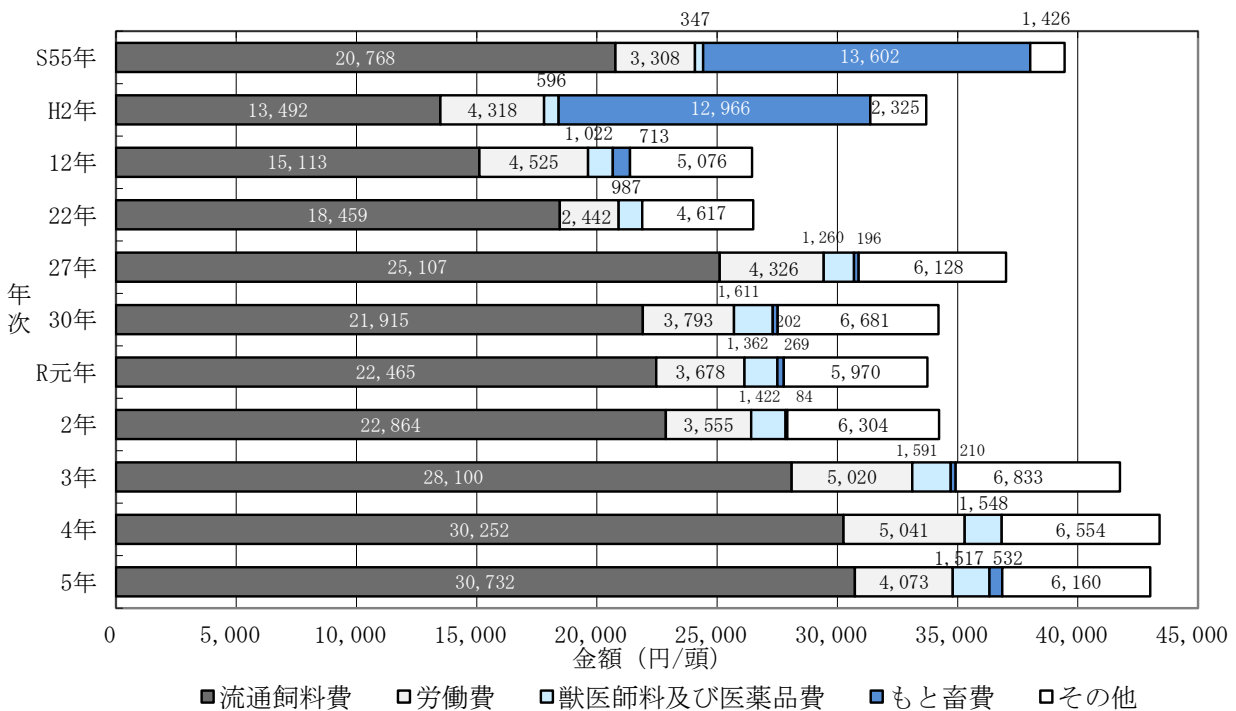
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	26,837	36,897	33,867	41,083	42,804	42,949
費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	26,505	37,017	34,229	41,754	43,395	43,014

※平成5年から調査対象農家を肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

費用合計の内訳



#### (2) 肥育豚生産の収益性

令和5年の肥育豚1頭当たりの所得は、前年に比べて177.4%増の3,659円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年	3年	4年	5年
所得(1頭)	△ 496	1,705	△ 317	7,000	5,314	7,945	5,935	5,234	7,149	2,060	1,319	3,659
家族労働報酬(1日)	—	1,882	△ 1,606	17,600	9,442	26,016	28,281	13,782	22,482	3,276	1,738	11,208

※平成24年から青森県データが非公表のため、東北データを用いた。

資料：畜産物生産費統計

※平成29年からデータなし。